

看護管理学方法論	4年・前期	1単位 45時間	講師 木部 和枝
科目カテゴリー	看護の統合	科目ナンバリング	34121034

1. 授業のねらい・概要

学生は、看護サービスの在り方を患者だけでなく社会の視点で考えるとともに、看護管理の諸理論・方法を学び、チーム・組織で働くうえで求められるセルフマネジメント力をつける。

2. 学修の到達目標

1. 看護管理の基本について説明できる。(D-1)
2. 社会の変化と看護の役割について説明できる。(D-3)
3. リーダーシップについて説明できる。(D-3)
4. フォロワーシップと、効果的な話し合いの手法について説明できる。(D-1)
5. 働きやすい職場環境整備について説明できる。(D-3)
6. セルフマネジメントについて説明できる。(D-1)
7. 生涯教育の必要性と継続教育について説明できる。(D-1)
8. 新人看護職キャリア支援について説明できる。(D-1)

3. 授業の進め方

授業は講義に加え、ケーススタディ等グループワークを行う。また、グループディスカッションを通して、学生の主体的な学習を期待する。

【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、事前学習型授業、グループワーク、リフレクション、レポートを用いる。

【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：Classroom 等による学習課題の提示、メールによる質問等の受付、WEB 配信「ナースングチャンネル」、DVDの活用等。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	オリエンテーション 看護マネジメント論	講義 演習	予習：看護管理学概論で使用したテキストを用いて看護管理の基本的知識を振り返る。 復習：看護マネジメントについて課題シートにそってまとめる。	木部和枝
2	看護政策論 －社会の変化と看護の役割－	講義 演習	予習：テキスト第1章・第10章を精読する。 復習：社会の変化と看護行政の関連を課題シートにそってまとめる。	木部
3	他者と協働するための理論① －リーダーシップ論－	講義 演習	予習：テキスト第2章1～2を精読する。 復習：状況に応じたリーダーシップのあり方を課題シートにそってまとめる。	木部
4	他者と協働するための理論② －フォロワーシップと、効果的な話し合いの手法－	講義 演習	予習：テキスト第2章3～7を精読する。 復習：チームの一員として求められる行動・スキルを課題シートにそってまとめる。	木部

5	働く人を活かすマネジメント① －働きやすい職場環境整備－	講義 演習	予習：テキスト第4章を精読する。 復習：看護管理者が行う人的管理について課題シートにそってまとめる。	木部
6	働く人を活かすマネジメント② －セルフマネジメント－	講義 演習	予習：テキスト第8章を精読する。 復習：働く看護職に求められるセルフマネジメントを課題シートにそってまとめる。	木部
7	看護職のキャリアと継続教育① －生涯教育の必要性と継続教育－	講義 演習	予習：テキスト第9章を精読する。 復習：看護専門職としての生涯学習の必要性和継続教育について課題シートにそってまとめる。	木部
8	看護職のキャリアと継続教育② －新人看護職キャリア支援－	講義 試験	予習：新人看護師の現状と課題について、調べまとめる。(早期退職、リアリティショックなど) 復習：新人看護職に実施される様々な支援を課題シートにそってまとめる。	木部

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）50％、課題レポート50％で総合的に評価する。

課題レポートの内容と提出日時は授業の中で提示する。

レポート提出が指定の期日に遅れた場合は50％減点となる（1週間以上の遅延は0点）。

総合評価が合格基準（60％）に満たない場合には、単位認定できない。評価対象物は、「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を、ルーブリック評価表を基に、5段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価表に関する詳細は、第1回講義内で別途説明する。

定期試験の出題範囲と出題方法は事前に口頭で提示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：1) 吉田千文他（2025）看護の統合と実践①看護管理 ナーシンググラフィカ メディカ出版

2) 小澤かおり編（2023）看護と実践①看護マネジメント/医療安全第4版 メヂカルフレンド社

参考文献：随時紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

授業計画で指定された範囲について、最低90分の予習および最低90分の授業内容の復習を行う。

8. 受講上の留意事項

ケーススタディ等グループワークを効果的に行うためには、参加する学生の主体的、意欲的な姿勢が重要である。各自、提示した予習範囲の事前学習を行い参加することを期待する。

9. 課題に対するフィードバックの方法

授業についての質問・感想・疑問については、講義内またはメールで受け付け、フィードバックする。

課題レポートの関しては、評価ポイントを掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目である。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護管理者としての実務経験を活かして、講義・グループワークを行う。